

「那須烏山市議会議員の議員定数に関する調査研究」 検討結果について（答申）を議長宛て提出しました

令和5年6月9日付けで議長から当委員会へ諮問があった標記の件について
令和6年3月13日（水）に議長へ答申書を提出しました。

なお、提出した答申書は別添のとおりです。

議会改革推進特別委員会 委員長 中山五男



議長へ答申を提出する中山委員長

令和6年3月13日

那須烏山市議会議員 渋井由放 様

議会改革推進特別委員会委員長 中山五男

「那須烏山市議会議員の議員定数に関する調査研究」検討結果について（答申）

令和5年6月9日付けで貴職から諮問のありました「那須烏山市議会議員の議員定数に関する調査研究について」本特別委員会において検討・協議を行った結果について、下記のとおり答申いたします。

記

○那須烏山市議会議員の定数について

次期市議会議員選挙における議員定数を「14人」とすることを答申する。

（主な理由）

各自治体の厳しい状況等を背景に、県内をはじめ全国の市町議会において、議員定数の削減が行われている。定数削減は議会基本条例の趣旨に鑑みて議会が自ら進んで改革するものであり、その姿勢を市民に明確に示す必要がある。

本市の人口は令和6年3月1日現在 23,925 人であるが、将来の推計人口で令和9年には 21,689 人にまで減少する見込みである一方、市の財政状況についても厳しい財政の硬直化に直面しており、人口減少及び財政状況については、残念ながら当面の間は改善が見込めないと推測される。

14人とする根拠として、令和5年7月に本委員会で開催した「議員定数及び議員報酬等に関するアンケート調査」にて各議員が回答した「本市議会のあるべき議員定数」の平均値は14.3人、また、県内同規模市町の議員定数の平均は13.5人である。

県内で本市より人口規模が大きい市町において、議員定数を14人もしくは13人としている議会もあり、議会の役割及び機能は十分果たされているものとする。